

Doc.No : NR040413-2

2004年4月13日

オリーブ社とJDF連携に関して合意

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野 富次)は、CIP4^{※1}が策定したJDF^{※2}に対応し、印刷会社における印刷物の生産システムと営業・業務・経営を含めた情報管理システムをシームレスに統合するプリントビジネス・ソリューション「Trueflownet(トゥルーフローネット)」を展開しています。その一環として、多くの導入実績を持つ株式会社 オリーブ(本社：東京都文京区／代表取締役社長：白井 慶吾)の印刷業界向けMIS^{※3}「PrintSapiens(プリントサピエンス)」と、当社のJDF対応ワークフローRIP「Trueflow 3(トゥルーフロー3)」^{※4}との間をJDFで記述されたデータによって連携する商品開発を進めることを同社と合意しました。

これにより、受注から製版、刷版出力の完了までをトータルシステムとして管理することが可能になるとともに、営業部門と生産現場など異なる部署間での伝達時間の浪費や連絡ミスなどを低減し、短納期化・効率化に貢献します。

「PrintSapiens」に登録された仕事は、「Trueflow 3」にJDFの指示書が送られ、「Trueflow 3」で製版に最適化したジョブに変換された後、処理が実行されます。1つの仕事に対する入稿ファイル(PDF、PS)がすべてそろっていない場合は、出力可能なジョブから処理を始め、突発する変更にも柔軟に対応できます。また、出力が完了したことを「PrintSapiens」に通知することにより、工務・製版・印刷間が円滑に連携でき、「Trueflow 3」の処理状況を工務部門などからも把握できます。さらに、ジョブ振り当ての効率改善を図ることで、CTPから印刷機への安定した刷版供給を実現します。

将来的には、印刷機や製本機までを含めたシステムの拡張を目指します。

※1 CIP4

The International Cooperation for the Integration of Processes in Prepress, Press and Postpressの略。製版・印刷・印刷後加工における工程の統合のための協議会の名称。

※2 JDF (Job Definition Format)

CIP4によって定められたデジタル指示書の書式であり、印刷物制作・製造の全工程を包括的に記述し、管理・制御することを目標とするフォーマット。

※3 MIS

Management Information Systemの略。印刷会社の営業・製造・経理の業務を円滑に推進し、経営戦略立案を支援するシステム。

※4 「Trueflow 3」は、2004年夏にリリースを予定しています。

《本件に関するお問い合わせ先》

大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジーカンパニー 営業統轄部 営業企画部 営業企画課：涌井
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1
TEL:075-414-7610

株式会社 オリーブ
営業部：松本
〒113-0024 東京都文京区西片1-17-11 大和ビル307号室
TEL:03-5689-1933